



水道橋畔発

Transmission from SUIDOUKYOUHAN

第 13 号 平成 22 年 12 月

水道橋病院は何を期待されているのか？

病院長 一戸達也



「水道橋病院は何を期待されているのか？」という表題には「誰から」という期待の主体が記載されていません。なぜなら、期待主があまりにも多いからです。患者、紹介医、学生、同窓、そして学内のおそらくすべての教職員……

期待する内容は異なるでしょうが、多くの方々の様々な期待が寄せられていることは疑いありません。患者や紹介医からは安全・快適で高品質の医療の提供を求められていますし、学生からは質の高い教育を求められています。同窓の先生方からは教育・研究・臨床・社会貢献の成果を常に積極的に国民に発信することが求められていますし、学内の教職員からは、おそらく収支改善を強く求められています……

先日、オバマ大統領は中間選挙で大敗を喫しました。菅総理大臣の支持率も安定高レベルとはいえません。その理由はなぜか？ すべてではないでしょうが、「期待はずれ」の因子があることは間違いないと思います。アメリカも日本も、国民はリーダーに夢を託し、期待を寄せました。その期待に十分に答えられていないから、支持率が低下していくのでしょうか。もちろん、景気低迷という個人の力ではいかんともしがたい状況があり、現実にはそう単純なものではありませんが……

翻って、水道橋病院に寄せられる期待に対して、我々はどこまで答えられているのでしょうか？ もし少しでも不足している部分があるならば、水道橋病院の教職員全員が知恵を出し合い、多くの方々のご援助をいただき、一致団結して問題を解決していかねばなりません。この原稿を書いている段階で、病院長に就任して5

か月が過ぎました。これまで、医療安全や個人情報保護の体制および保険診療と自由診療の基盤を整備してきました。これからは、いよいよ懸案である収支改善に向けて、診療体制の改革や適切な人員配置、合理的な物品管理などを実施し、「よりよい病院」を作っていかなければなりません。しかしそれは、安全・快適で高品質の医療と質の高い教育のための基礎に過ぎません。教育・研究・臨床・社会貢献の成果の国民への発信のための最低限の条件に過ぎません。

水道橋病院は3年後の大学本体の移転に向けて、近々改修工事が始まります。これからの3年間は病院の工事という悪条件の中で、すべての方々の期待はすれにならないために、最大限の努力を続けなければなりません。そしてその努力が実を結ぶとき、新水道橋病院は、多くの方々の支持を得て、新しい時代の先端を走る歯科大学附属病院に生まれ変わります。その時を目指して、皆さんと一緒に頑張っていきたいと思います。

水道橋病院の医療連携プロジェクト

医療連携プロジェクト委員会委員長 大多和由美



本学創立120周年を期に、大学本体が千葉校舎から水道橋校舎に移転することとなり、「継承と発展」のために水道橋病院でも様々な改革が進められています。なかでも医療連携プロジェクトは、6月の一戸病院長新任挨拶のタイトルに“医療連携の更なる発展をめざして”

とありますように、特に力を入れている改革の一つです。医療連携を推進していくために、『医療連携プロジェクト委員会』を本年8月に設置しました。

地域医療機関の皆さまに対して、後方支援的な連携だけではなく、双方向の医療連携の実現を目指します。ご

東京歯科大学水道橋病院の理念「思い遣りの心に依る医療」

紹介いただいた患者さんへのサービスの拡充にこれまで以上に努めてまいります。また、本市川総合病院、社団法人東京都教職員互助会三楽病院と診療協定を締結し、医科疾患への対応も直ちに取れる体制を構築しております。

皆様への情報発信として水道橋病院で開催しております症例報告会を更に充実させると共に、新たな企画として各種講習会（医療安全、感染予防など）を開催する予定です。随時当院ホームページや水道橋畔などでご紹介いたしますので、ぜひご活用いただきたいと思います。

「高品質の医療と患者様や連携先の医療機関の満足」が水道橋病院のキーワードです。医療連携機能の充実を図るために様々な活動を行ってまいります。皆さまからの忌憚のないご意見をいただきたいと思います。今後ともよろしくお願い申し上げます。

東京歯科大学水道橋病院 地域医療連携室

TEL : 03-5275-1932 FAX : 03-3262-3420
renkeish@tdc.ac.jp

内科と協力した禁煙外来を開設

総合歯科 齋藤 淳

平成 18 年に一定の条件下における禁煙治療は、健康保険適用となりました。これを受けて、水道橋病院では禁煙外来を設置し、内科、看護部、口腔外科が中心となり治療を行ってきました。平成 22 年 4 月からは歯科の関わりを強めるため、総合歯科の歯科医師も禁煙外来を担当するようになりました。

禁煙治療は、ニコチン依存症と診断された方を対象とし、「禁煙治療のための標準手順書」（日本循環器学会、日本肺癌学会、日本癌学会編）に基づいて行っています。健康保険を使用し、3 か月で 5 回の治療が可能です。現在、治療で主体となるのは、バレニクリン（チャンピックス）という内服薬の処方です。バレニクリンは、平成 20 年 1 月に承認された日本初の経口禁煙補助薬です。脳内の $\alpha_4\beta_2$ ニコチン受容体をブロックする「拮抗作用」と、禁煙に伴う離脱症状を軽減する「（部分）作動薬作用」を併せ持つのが特長となっており、従来の治療より効果が高いことが報告されています。バレニクリンはニコチンを含まないため、ニコチン代替療法では禁忌となる不安定狭心症、急性期の心筋梗塞（発症 3 か月以内）、重篤な不整脈のある患者、脳血管障害回復初期の患者、顎関節症の患者も使用できます。

喫煙の人体、とくに口腔に及ぼす影響を鑑みると、これからの禁煙指導における歯科の役割はますます大きく

なります。例えば歯周病の治療では、歯科医師、歯科衛生士が長期にわたり患者と関わりを持つことが多く、行動変容を含めた禁煙へのアプローチを行う余地は十分にあると思われます。しかし、現状では禁煙支援における歯科の取り組みは不十分と言わざるを得ません。今後、歯科大学病院ならではの歯科医師、歯科衛生士の効果的な介入を検討し、内科、看護部とのチームアプローチで、よりよい禁煙支援を行っていきたいと考えております。

平成 22 年 10 月から、たばこが値上げされたこともあり、患者数も増加傾向にあります。禁煙外来は毎週水曜日の午後に設けております。保険適用条件としては、①ただちに禁煙しようと考えていること ②ニコチン依存症スクリーニングテスト（TDS）で 5 点以上 ③ブリンクマン指数（1 日喫煙本数×年数）が 200 以上、などがあります。禁煙治療を希望し、水曜日の午後に通院が可能な患者様がいらっしゃいましたら、是非ご紹介ください。尚、禁煙外来は予約が必要ですので、内科までお電話をお願いいたします。



東京歯科大学水道橋病院 内科 TEL:03-5275-1926

東京歯科大学 3 病院合同で行う 外科矯正治療勉強会

矯正歯科 小坂竜也

平成 22 年 7 月 15 日、TDC ビル 13 階にて第 6 回外科矯正治療勉強会を開催しました。今回は「開咬症に対する外科的矯正治療」をテーマとし千葉、市川、水道橋各病院の口腔外科医ならびに矯正歯科医からのプレゼンテーションの後、参加された 100 名以上の先生方とともに活発な議論が交わされました。

千葉病院口腔外科から澁井武夫先生が「開咬症の安定性を得るには！」というタイトルのもと上顎前突、下顎前突、各々前後的な問題を踏まえた上での開咬症に対する口腔外科医的アプローチについて発表されました。続いて市川病院オーラルメディスン・口腔外科からは外木守雄先生が「開咬症への対応：術式の工夫」と題し、具

体的な外科手術時の筋・人靱帯剥離や骨離断などについての発表がありました。また、水道橋病院口腔外科からは高野正行先生が「開咬症の長期経過症例 再発の予防と対応」というタイトルのもと外科的矯正治療を行った長期安定開咬症例について実際の術中動画なども交え報告がありました。私も「開咬に対する歯科矯正学的アプローチ」と題し、矯正歯科医として口腔外科医とは違った視点で開咬症に対する治療見解について発表させて頂きました。

開咬症例、特に外科的矯正治療の適応となるような症例は重篤な形態的不正に加え悪習癖などの機能的な問題を抱えていることから治療の難易度が高く、予後安定性の確立が難しいとされています。今回、発表者のみでなくご参加頂いた多くの先生方とともに、互いの見解について意見交換ができたことは今後の臨床発展に大いに継るものと考えております。今回ご参加頂けなかった先生も今後の外科矯正勉強会に是非ともご参加頂き、忌憚なきご意見をお聞かせ頂ければと思います。

全学あげて歯科技工士もスキルアップ

歯科技工室 外山宗明

平成 22 年 9 月 24 日（金）血脇ホールに於いて第 4 回千葉病院、水道橋病院合同歯科技工士勉強会を開催しました。今回は、演者として歯科技工士の生田龍平氏を招き、「噛める義歯に与える排列と咬合面形態」と題し講演して頂きました。

水道橋病院の医局員の方々はもちろん、千葉病院の医局員の方々、東京医科歯科大学、明海大学病院の技工士の皆さん等、内外から 70 名程の参加者を迎え、熱気のある勉強会になりました。

生田氏は長年にわたり、義歯の製作に携わり、横浜臨床座談会や JDA 等で研鑽を積まれ、落ちない、浮かない、噛んでも動かない、良く噛める義歯の製作に取り組んでいる現在もっとも活躍されている技工士の一人です。

講演の中で特に心に残ったのは、横浜臨床座談会における丸森賢二先生からの教え「問題発見・問題解決能力」です。これは技工士にとって患者さんに向き合った、良い入れ歯作りに欠かせない姿勢だと感じさせられました。また、義歯や口蓋板を装着する患者疑似体験は、実際に自分自身が患者の立場に立つことで、患者さんの願いや訴えを実感でき、より良い技工物製作に生かす事は、当病院の理念である「思い遣りの心に依る医療」に繋がると思いました。医療人としての資質を向上し、より良い病院とするために、一技工士として絶えず持ち続けなければと心に強く刻まれた講演でした。

次回からも、技工サイドから“今何か？何が？”を発信していこうと思いますので、皆さんのご参加をお願いします。

歯科衛生士スキルアップの門戸を開けて

歯科衛生士部学術担当 中浜典子

水道橋病院歯科衛生士部では、平成 11 年の発足以来、不定期ながらも部内で勉強会を開催してまいりました。当初、各診療科に配属されていた歯科衛生士が診療科の枠を超えて活動することに慣れていなかったせいか、足並みが揃わず、また診療補助一辺倒であった水道橋病院の歯科衛生士が自らのスキルアップのために勉強会を企画・運営することの難しさを痛感しながら、手探り状態で行っていたような状況でした。

平成 18 年から荒木歯科衛生士長（当時）の下で、歯科衛生士部としての勉強会を組織立てて企画・運営していくために学術班を発足させ、岩田主任歯科衛生士を責任者に 2 人の部員を配置して歯科衛生士部としての勉強会活動の強化を図りました。その結果、勉強会の回数も増え内容も感染予防・医療安全・歯科材料・認定歯科衛生士に関することなど、多岐にわたって開催できるようになりました。

また、平成 22 年度に上島歯科衛生士長の新体制となり、学術担当も交替いたしました。より充実した活動を行うために従来の 3 人体制から 2 人増員し、5 人体制となりました。今後の活動といたしましては、

- ①大学病院に勤務する歯科衛生士として必要とされる医療安全・感染予防
- ②歯科衛生士の専門性のスキルアップ・歯科的知識の充実
- ③社会人として必要とされる接遇マナー・エチケット
- ④教養・素養

といった分野を中心に、ベーシックなものから、時宜を得たテーマまで幅広く、バラエティに富んだ勉強会を



定期的に開催したいと考えております。

地域歯科診療の一端を担うためにも、水道橋病院を実習先とされている歯科衛生士学校の学生さんや同窓の先生方の歯科医院に勤務されている歯科衛生士の皆様方等、院内外に広く門戸を開きたいと思っております。

何分にも経験が浅く、同窓の皆様の御意見・御知恵を拝借いたしたく存じますので、今後とも御指導の程、何卒よろしくお願い申し上げます。

口腔外科の初診は事前の予約をお願いします

口腔外科科長 高野正行

平素は大切な患者様をご紹介いただきありがとうございます。ごぞいます。

皆様のご支援により、このところ土曜日や連休明けなど日によって初診の患者様が集中して大変ご迷惑をおかけしております。このような状況を少しでも緩和するために、初診日の事前予約をお願いしております。口腔外科宛のご紹介、医局員ご指名のご紹介ともに、紹介状（診療情報提供書）を渡される際に、患者様に「口腔外科受付に電話して初診日のご予約をとるよう」にお伝えください。予約システムを確認の上、混雑状況や担当医の診療状況などをご案内しております。また急を要する場合等は先生からもその旨お電話いただければ幸いです。

円滑な医療連携のためご協力よろしくお願い申し上げます。

口腔外科受付 03-5275-1725 または
病院総合受付 03-3262-3421
(予約受付時間 9:00～16:00)

水道橋界隈スケッチ

東京歯科大学の水道橋移転に関して水道橋さいかち坂上校舎の建設については以下が予定されています。

工事期間（約12～20ヶ月）

平成23年12月 竣工

平成24年1月～3月 引越、検証

平成24年4月 123期生入学



現在のさいかち坂上校舎
予定地

症例報告会のお知らせ

片田英憲

平成23年度の水道橋病院症例報告会は5月19日（木）16時頃より東京歯科大学水道橋病院13階大教室にて開催する予定です。まだテーマは決まっておりますが、皆さまの明日の臨床に役立つ内容となるよう検討中です。4月中旬までにはお知らせをいたしますので、今からこの日を予定に入れていただきますようよろしくお願いいたします。

研修会のお知らせ

大多和由美

歯科臨床における手話（仮題）

5月29日（日）午前10時半から午後4時

東京歯科大学水道橋病院13階

東京歯科大学水道橋病院障がい者歯科

大阪大学歯学部附属病院障害者歯科治療部共催

年末年始の診療について

年末は12月28日（火）まで平常に診療いたします。年始は1月5日（水）より診療開始です。なお休診中は、本院へ通院中の患者さまに対してのみの緊急オンコール態勢となりますので、皆様のご理解ご協力をお願い申し上げます。

東京歯科大学水道橋病院 直通電話番号（各科受付）一覧

総合歯科	03-5275-1721 1722
口腔インプラント科	03-5275-1760
小児歯科	03-5275-1723
障がい者歯科	03-5275-1723
矯正歯科	03-5275-1724
口腔外科	03-5275-1725
歯科麻酔科	03-5275-1851
眼科	03-5275-1856
内科	03-5275-1926
放射線科	03-5275-1953
FAX（各科共通）	03-3262-3420

水道橋病院 診療案内

初診受付	平日、土曜とも 午前9時から午前11時
診療時間	平日 午前9時から午後5時 土曜 午前9時から午後12時
休診日	第2土曜、日曜、祝日、 本学創立記念日（2月12日）、年末年始

水道橋畔発編集委員

編集委員長 片田英憲

編集委員 大多和由美、高野正行、古澤成博、
片倉 朗、関根秀志、斎藤 淳、
辻野啓一郎、仁科牧子、鈴木福代、
上島文江、小林友忠、高木直人、藤倉隆行